

1. 日時 平成26年7月2日(水) 第5限
2. 学級 1年1組 (男子8名 女子15名) 計23名
3. 場所 運動場
4. 単元名 「あったらいいな、じぶんだけのしゃぼんだま!!」

5. 単元目標

- ・しゃぼん玉遊びを楽しむことができる。
- ・しゃぼん玉作りを工夫し、友達に工夫したことを分かりやすく伝えることができる。
- ・しゃぼん玉作りを通して、しゃぼん玉液や、しゃぼん玉を作る道具は、身の回りにあるもので工夫できることに気づく。
- ・しゃぼん玉の面白さや不思議さに気づく。

6. 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
○自分から進んで身近な自然を利用したり、身近にあるものなどを使ったりして、遊びや遊びに使うものを工夫して作る。	○しゃぼん玉の面白さや自然の不思議さに気付いている。 ○発見したことをワークシートに書いたり友達に伝えたりすることができている。	○身の回りにあるものが利用できることに気付いている。

7. 指導にあたって

学級の様子

学級の子どもたちは入学して3カ月近くである。入学当初、聞こえなかったり分からなかったりしたときにも聞き返すということができなかった。そこで、マイテーマを『「？」を言葉で伝えよう!』に設定し、学習面でも、生活面でも疑問に感じることを言葉で表すことが大切だと言いつづけている。少しずつ分からないことを分からないと言える児童が増えてきている。

生活科学習について

生活科では、学校探検で2年生にお世話してもらい、今でもよく、学校探検に行っている。また、サツマイモの苗を6年生に教えてもらい一緒に植えてもらった。

1人1つずつ朝顔を植えて、つるが出てきたなど、変化に気づき喜んでいる子どもたちも多い。種を植えたときに、芽が出るのはいつかを予想させた。

学年では、ゴーヤ、うり、朝顔の「のぼりっこきょうそう」をしており、子どもたちに一番早くのぼって行くのはどの植物か予想させている。ただ、目のまえにない植物の成長を想像して予想するのは難しいようだった。

トマト、カボチャ、ポップコーンを育て草ぬき、水やりをする中で植物を収穫できる日を楽しみにしている。

また、生き物に関心がある子どもが多く、テントウムシ、カエル、ダンゴムシ、アゲハの幼虫を休憩中に探したり、家から、ザリガニ、カニをもってきたりしている。

しかし、捕るばかりで、土やえさをいれずに平気な児童もいる。生き物も、「いのち」であるという見方ができない児童も少なくはない。捕ってきた生き物がどんな環境で生活していたのかを思い出させることで、すみかの作り方や餌の取り方の工夫ができるように生き物マップを作った。

プールのヤゴとりでは、気持ち悪いと言って中には入れなかった児童もいたが、つかまえたヤゴがその日の夜中にギンヤンマになったと喜んで、次の日学校に持ってきていた児童もいた。

植物、生き物を育てる際に共通して感じることは、気付いたことや不思議だと思ったことを、絵や言葉で表現するのが苦手な児童が多いということである。例えば、カエルの色が変わったことに気付いてもそれを、観察カードに書くとなったら、止まってしまう。そこで、小さな紙に、発見したことや、不思議だと思ったこと一言でもいいよと書いて書くようにしている。気軽に書けるので、ちょっと浮かんだ「？」を書くことができています。

図鑑が好きで、つかまえてきた生き物の名前を自分で調べたり、えさを調べたりしている子も何人かいる。つかまえてきた生き物の名前が分かった時は本当に嬉しそうである。

6月中旬から取り組んでいるしゃぼん玉では、初めは市販のしゃぼん玉液とストローで吹いてみた。それほど大きくないしゃぼん玉でも、最初に吹いたしゃぼん玉よりも大きくなったら、大きいのが吹けたよと喜んで児童もいた。家庭や幼稚園でしたしゃぼん玉に対して、好きだと答えた児童は23人中22人である。好きという子は、しゃぼん玉がいっぱいできて風に吹かれて飛んでいくのを追いかけるのが楽しいと感じるからという理由であった。嫌いといった1人は、すぐ飲み込んでしまうからという理由であった。虫取りと同様、一部の児童は、休憩中も「いいこと浮かんだ。」などと言いながら、道具を工夫している。時々、「発見したことをみんなにも伝えたい。」というので、しゃぼん玉ニュースの時間をとっている。友達が発表し、前で実際にやるのを見たとき、「おー。」と驚いている。「大きくなったけど、飛ばない。」という児童に、別の児童が、「横にふってみたら??」などアドバイスをしている。

「大きいしゃぼん玉」を作りたいと言っても、直径10センチくらいのしゃぼん玉ができれば喜んで様子から、子どもたちの「大きいしゃぼん玉」のイメージはそれほど大きくないのではないかと考えられる。

## 単元について

本単元は、小学校指導要領解説：生活編 生活科の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」をうけて設定している。

乳酸飲料のからやトレイやペットボトルなど身の回りにあるものを活用し、吹き方や道具の工夫をすることに面白さを感じるだろう。使ったものや素材の意外性にも面白いという気持ちを持つこともあるだろう。しゃぼん玉遊びを通して、自分の予想と事実が異なった時に感じる「？」の気持ち、思わず「おー。」と言いたくなるような驚き、「すごい！」と言いたくなるような感動を感じることもあるだろう。

1年生になって3ヶ月なので、遊びを通して色々なことを発見できるように、幼稚園の頃から楽しんできたしゃぼん玉を取り入れた。また、「自分だけのしゃぼん玉」を作りたいと試行錯誤する経験は2年生の生活科の遊びや遊びに使う物を工夫して作る活動にもつながると考えられる。

吹き方、しゃぼん玉液、しゃぼん玉を飛ばす道具などを工夫することで、より大きく割れにくいしゃぼん玉をつくりだすことができる。「あったらいいな、じぶんだけのしゃぼん玉」という単元名を設定することで、より楽しんで工夫したいという気持ちがわきあがってほしい。

## 指導について

1年生では、『身近な自然に気づき、自分たちの遊びや生活を楽しんで工夫できる子』を目指している。何かを予想し、工夫するということはまだまだ難しい児童たちに、楽しみながら考え工夫するのにしゃぼん玉は適切な教材ではないかと考えた。身の回りの物を使ってしゃぼん玉が作れるということ知って、予想して工夫するという経験をしてほしい。図鑑で調べたりおうちの人に聞いたりすることで、自分で課題を解決しようとする習慣をつけてほしい。そして、自分が工夫したことや発見したことを絵や文で表し、友達に言葉で伝えられるようになってほしい。

そのために、子どもたちが想像した考えはできるだけ大事にして挑戦させてやりたい。予想通りではなくてもあきらめずに、友達と教えあいながら活動させたい。

そして、しゃぼん玉が嫌いだと答えた児童に、ストロー以外でもしゃぼん玉が楽しめることに気付かせ、好きになれるような体験をさせたい。そこで、より嫌いにならないように液につけているストローを口にくわえないように注意し、吹く息と吸う息は違うことに気付かせたい。自分が作りたいと思うしゃぼん玉に少しでも近づけるように試行錯誤させていきたい。

中には、「大きいしゃぼん玉」を作りたいと言っても、子どもたちの「大きいしゃぼん玉」のイメージはそれほど大きくない。そこで、児童の想像を超えるしゃぼん玉を見せることで、しゃぼん玉の面白さや不思議さをよ

り強く感じさせられるだろう。

しゃぼん玉液は数人、自分で作ってみたいという子がおり作っているところである。しかし、しゃぼん玉が思うようにはふくらんでいない。そこで、本時は、教師側で液を作ることにした。液を作る上で、ヒントになればいいと願っている。単元の最後に、液を作ってみたいという意識が高かった2組と交流して液についても触れたいと思う。交流することでしゃぼん玉液についても気づく児童もたくさんあるだろう。

### 本時について

本時は、しゃぼん玉のおもしろさや不思議さに触れて、しゃぼん玉作りを工夫し、思いっきり楽しんで欲しい。「あったらいいな」と願うしゃぼん玉を作るために試行錯誤する時間をとりたい。本時に至るまでにしゃぼん玉作りをする中で、児童が必要だと感じた、大きなバケツ、棒、ひも、フラフープ、針金などを用意したい。

巨大シャボン玉を作りたいという児童は、本で、棒とひもが必要だと知り道具を作ったが思うようにはいかず、たっぷり液が入った大きな入れ物が必要だと感じたようだ。自分が入れるくらい大きなしゃぼん玉を作りたいという児童は、フラフープを使いたいということだった。また、ハンガーを持ってきた友達を見て、針金を使って大きなしゃぼん玉を作りたいと言っている児童がいる。

「あったらいいな。」と願っているしゃぼん玉に近づけるように広い場所で、児童が必要と感じるものを思う存分利用させたい。そのような場を設定することで、児童のしゃぼん玉をもっともっと楽しみたいと感じることができると考えた。

そして、自分が感じたことや工夫したことを、自分なりの言葉で表現する時間もとりたい。自分なりの言葉で工夫したことや感じたことを表現する経験は他教科や普段の生活にも生かせると考えられる。

また、次時に、もっとやってみたいことや今までにできなかったことを解決できる時間をとりたいので、次の時間やってみたいことは何かを問いかけたい。

## 8. 単元指導計画 (全 8 時間)

### 単元導入 しゃぼんだまについてはなそう！ (1時間)

今までやったことがあるしゃぼん玉遊びを思い出してみんなに紹介する。

### 第1次 しゃぼんだまをとぼそう！ (1時間)

市販のしゃぼん玉液を使ってしゃぼん玉を作って遊ぶ。

### 第2次 じぶんだけのしゃぼんだまをつくろう！ (4時間)

- ・「あったらいいな」と思うしゃぼん玉を想像して、絵や文で表す。(1時間)
- ・作ってみたいしゃぼん玉に近づけるように、しゃぼん玉遊びを工夫する。
- ・しゃぼん玉を作るときに工夫したことを発表する。

3時間

### 第3次 もっともったのしもう！ (2時間) (本時 1/2)

- ・「あったらいいな。」と願っているしゃぼん玉を発表する。
- ・われにくいしゃぼん玉液をたっぷりつかって、今まで作った道具や新しく作った道具で、しゃぼん玉遊びを楽しむ。
- ・しゃぼん玉を作るときに工夫したことを発表する。

本時

- ・1年生しゃぼん玉大会をする。

## 9. 学習活動のながれ

- ・本時までの学習

### <単元導入>

いままで、かわったしゃぼんだまをつくったことある？

しゃぼんだまについてはなそう！

- ・われにくいしゃぼんだまをテレビで見た。
- ・ステッキがたのしゃぼんだまをしたよ。
- ・てっぽうがたのしゃぼんだまをしたよ。
- ・保育園の祭りでしたよ。
- ・花のみつをいれた。
- ・学校でもやってみたい。

しゃぼんだま好きな子ども 22人  
嫌いな子ども 1人

すぐのみこんでしま  
うから、きれい。

### <第1次>

ストローでふいてみよう。

しゃぼんだまをとばそう！



はっけん！

- ・ななめにしたらとんだ。
- ・おおきいのもでたよ。

おしえてもらったよ。

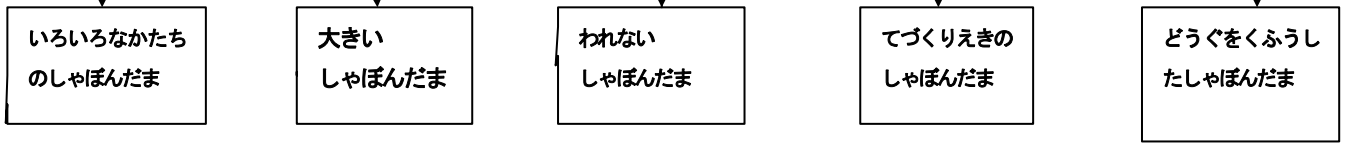
- ・ストローを下向けない方がいいよ。
- ・ゆるーくふいたほうがいいっておしえてもらったよ。
- ・〇〇ちゃんに教えてあげたよ。

やってみたいな。

- ・ちょっとしかでなかったから、もっといっぱいでてほしい。
- ・小さいのしか出なかったから、次は大きいのが出てほしい。
- ・われなかったらいいなあ。



あつたらいいなっておもう、しゃぼんだまってどんなの??

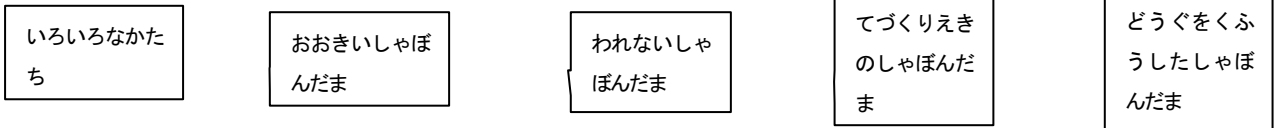


- ハートがた
- ひしがた
- ゆきだるまがた
- せんろがた
- ほそいまる
- おおきくてにじいろ
- わたしよりおおきい。
- なかにはいらたい。
- さわってもわれない
- なにをつかっていいかわからない??
- しお? さとう?
- しょうどくえき??
- かわったどうぐでふいてみたい。

<第2次>

もってきたものをつかって、じぶんだけのしゃぼんだまをつくらう!!

じぶんだけのしゃぼんだまをつくらう。



できたよ!!

- 2つ重ねたら、雪だるまになったよ。
- ハート型の入れ物にストローをさしたよ。
- おしりがたができた!!
- ストロー重ねて吹いたら、ドリアン型ができたよ。
- ゆっくりふいたら大きくなったよ。
- ストローの先を切ったら大きくなったよ。
- ストロー重ねてふいたら大きくなったよ。
- ヤクルトよりペットボトルの方が大きいのができたよ。
- 二人でしたら大きいのができたよ。
- 入れ物にストローをさしたら大きいのができたよ。
- ヨーグルトの入れ物に吹いたらわれないのができた。
- お母さんが、洗剤と水を混ぜてくれた。
- ボディソープやと思う。
- 塩と砂糖と水と混ぜたけど、できへんかった。
- 塩と砂糖と氷とボディソープとオレンジと混ぜたよ。
- 石けんでできるって書いてたから、削ってみたよ。
- 紙を丸めてもできるよ。
- 葉っぱでもできた。
- ヤクルトつないで鉄砲型ができたよ。
- ストローつないで、同時に2つ出るようにしたよ。
- あみでもできたよ。

??  
??

- ・入れ物はハートがたやけど、丸くなるよ??
- ・六角形の箱に、ストローつけてふいても丸くなる・・。
- ・大きくなったけどはなれへん・・・。
- ・紙を巻いた方が大きいのができたけどなんでかな??
- ・ハンガーをもってきたけどできへん。
- ・液足りへんのちゃう?
- ・なんか、棒とひもでできるって本に書いてた。
- ・ぎざぎざじゃない棒ないかなあ。
- ・フラフープでやりたい。
- ・たっぷりの液でやってみたい。
- ・はりがねでやってみたい。
- ・何をいれるんかわかん??
- ・砂糖と塩としょうどくえきとボディソープやと思う。
- ・粉薬を入れるんかなあ??
- ・石鹸と水混ぜたけどできへん。なんでやろう??
- ・次はリンゴをいれたい。
- ・紙にしみってすぐにやぶれてしまう・・・。

やってみたい!!

- ・お菓子の箱を切って吹いてみたい。
- ・星の形の段ボールでやってみたい。
- ・トレイにハート型を切ってほしい。

はっぱでもできたよ。

きれいだったけど・・・

ふたりでつくったら、おおきのができた!!



おおきくなったけど、はなれへん。

かみまるめたら、できたよ。

らっぱみたいにしていんやけど・・・。

ちょっとゆらしたら??。



えのぐいれて  
がようしにお  
としたら、ま  
るくつくよ。



<第3次>

あったらいいなっておもっているしゃぼんだまできた??

もっともっとしゃぼんだまをたのしもう!

- ① (本時) 自分なりの工夫をして、しゃぼん玉遊びを楽しむ。  
われにくいしゃぼん玉液を使用し、今まで、作ってきた道具や本時で作った道具などでしゃぼん玉遊びを楽しむ。
- ② (本時以降) 1年生でしゃぼん玉大会をする。

## 10. 本時の学習

### (1) 目標

- ・自分なりの工夫をして、しゃぼん玉遊びを楽しむことができる。
- ・感じたことや、工夫したことを言葉でみんなに伝えることができる。

### (2) 本時の主張点

楽しんで活動できているか見てほしい。自分が工夫したことを自分なりの言葉で伝えられているか見てほしい。

### (3) 展開

学習活動	支援 (○) 評価 (●)
<p>① 「じぶんだけのしゃぼんだま」について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きいのはできたけど、自分が入れない。</li> <li>・初めよりは大きくなったけど、もっと大きいのが作りたい。</li> <li>・トレイをハートに切ったけどまるくなる。</li> <li>・棒とひもで大きいのができるって書いてたけどやり方がわからない。液をたっぷりつけたい。</li> <li>・われにくいのもできたよ。</li> </ul>	<p>○自分の作ってみたいしゃぼん玉を意識させる。</p>

・ストローつないだら色んなところから出るよ。

もっともっとしゃぼんだまをたのしもう。

② われにくいしゃぼん玉液を使ってしゃぼん玉作りをする。

- ・前より大きいのができたよ。
- ・前よりわれにくいよ。
- ・針金の形を変えてみよう。
- ・フラフープ使ったら、中には入れるのできるのかな。
- ・どの針金使おうかな。
- ・ひもはどうやって使おうかな??
- ・ペットボトルにあなあけてー。
- ・べたべたになった。
- ・棒にひもをつけたいけど、付け方わからん。
- ・フラフープにしたけど、まくがはらない・・・。
- ・ハートがたに切りたいけど切れない。

③ しゃぼん玉を作るのに、工夫したことや、気付いたことを発表する。

- ・針金を使ったよ。
- ・針金でやったら大きくなった。
- ・モールでも大きいのができた。
- ・ダンボールやったらすぐにやぶれてきたよ。
- ・やっぱり、ハートの形にはならなかった。
- ・棒とひもで、たっぷりえきをつけたら長いのができたよ。

④ 次にやってみたいことを考える。

- ・またやりたい。
- ・あんな大きいしゃぼん玉作ってみたい。
- ・先生が作った液も作ってみたい
- ・2組さんにも見せてあげたい。

○われにくい液を使うことで、達成感を持たせるようにする。

○フラフープ、ひも、針金、段ボールを使う際の注意をする。

○液を、飲み込んだりしないように注意する。

○順番を守ること、走らないことを約束させる。

●しゃぼん玉遊びを楽しんでいる。

○実演をみんなで見れるような場を設定する。

●自分が工夫したことを、自分なりの言葉で表現している。